

2003年度 中間決算説明会資料 (1/8)

2003年11月21日
三菱ガス化学株式会社

1. 連結 セグメント別 2003年度上期 売上高・損益増減比較 (対前年同期実績)

(単位:億円)

	2002年度 上期実績	2003年度 上期実績	増減	増減率	メモ
売上高	1,496	1,644	148	9.9%	化学品部門 天然ガス系
化学品部門	863	953	90	10.4%	メノール系 メノール価格上昇により、誘導品を含め売上増加、価格転嫁は不十分 MMA系 透明樹脂向け堅調、販売価格上昇
機能製品部門	534	612	78	14.6%	アモニア 販価高値安定、定修スナップによる数量増加、固定費減少 芳香族
その他部門・消去	99	79	20	20.3%	原料キリン高値で、汎用石化品採算悪化(前期はPTA市況高騰で好調) MXDA系、特殊芳香族等は、需要先の在庫調整による販売減、固定費増加
営業利益	2	45	46	-	機能化学品
化学品部門	6	6	0	1.3%	過酸化水素は、新規工業用途、販価是正で改善傾向 その他工業薬品は、内需、輸出とも不振
機能製品部門	9	35	44	-	機能製品部門
その他部門・消去	2	4	2	99.5%	インフラは、市況軟化傾向も、需要堅調で増収、子会社タバリアケルも増設完了し、順調 プリント配線板は、需要堅調で増収、生産体制再編効果もあり改善。LEシートも順調に需要増加 情報機能材不振、E-ジェルは内外とも順調、補酵素Q10は健康食品用途拡大等で伸長
営業外損益	8	39	48	-	
持分法投資損益	13	60	47	370.3%	持分法投資損益 海外メノール2社収益拡大、インフラ2社、JSPも順調。(持分法投資損益の大半はメノール2社によるもの)
金融収支	4	8	3	-	
その他 営業外損益	16	12	4	-	
経常利益	10	84	94	-	
特別利益	3	3	1	24.9%	
特別損失	18	14	4	23.2%	2002年度:有価証券評価損14億円など 2003年度:機能製品関係の設備廃棄損8億円など
税金等調整前中間純利益	25	73	99	-	
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	14	10	24	-	
少数株主利益または損失	2	3	5	-	
中間純利益	10	60	70	-	

2003年度 中間決算説明会資料(2/8)

2003年11月21日
三菱ガス化学株式会社

2. 連結 2003年度上期末 貸借対照表(対前年度末実績)

(単位:億円)

	2002年度 下期末	2003年度 上期末	増減	増減率	メモ
現金及び預金	250	223	27	10.8%	
受取手形・売掛金	831	880	49	5.9%	増加理由:売上高の増加および流動化債権の減少
有価証券	122	51	71	58.2%	減少理由:運用債の減少
棚卸資産	491	528	36	7.4%	増加理由:タノール価格上昇、期末時の船入荷、タイングラ会社設備能力増強。
その他流動資産	109	112	3	2.6%	季節要因(エ-ジレス、子会社の温熱体、農薬など)
<流動資産計>	1,803	1,794	9	0.5%	
有形固定資産	1,714	1,670	44	2.6%	減少理由:設備投資(75億)<減価償却(98億)・除却・売却
無形固定資産	17	18	0	1.9%	
投資等	1,046	1,164	117	11.2%	増加理由:有価証券の時価評価、持分法会社の持分剰余金増
<固定資産計>	2,778	2,852	74	2.7%	
資産合計	4,581	4,646	64	1.4%	
支払手形・買掛金 ・その他買掛未払債務	750	780	30	4.0%	
有利子負債	1,940	1,854	86	4.4%	単体25億円減、子会社62億円減。
その他負債	207	217	10	4.7%	
<負債計>	2,897	2,851	46	1.6%	
<少数株主持分>	66	61	5	7.8%	
資本金・資本剰余金	775	775	0	0.0%	
利益剰余金	951	1,000	49	5.1%	中間純利益60億円。
土地再評価差額金	2	2	0	0	
その他有価証券評価差額金	31	36	67	216.1%	株式市況の回復
為替換算調整勘定	40	40	0	0.6%	
自己株式	38	38	0	0.2%	
<資本の部>	1,619	1,734	116	7.1%	株主資本比率2.0%上昇。
負債及び資本合計	4,581	4,646	64	1.4%	

2003年度 中間決算説明会資料(3/8)

2003年11月21日
三菱ガス化学株式会社

3. 連結キャッシュフロー(2003年度中間期)

(単位:億円)

	2002年度 中間期	2003年度 中間期	増減	メモ
現金・現金同等物 期首残高	282	337	55	
営業活動によるCF	126	62	64	税前利益73億円、うち持分法利益60億円 償却費97億円、運転資金増加50億円(債権流動化減少、棚卸資産増)
投資活動によるCF	139	30	109	設備資金収支 -61億円、有価証券売買収支 +21億円
財務活動によるCF	6	105	111	借入金・社債減少 86億円。自己株取得資金 4億円。配当金支払15億円。
為替換算差異 他	9	2	6	
現金・現金同等物 純増減額	16	76	60	
連結追加・除外による増減	16	0	16	
現金・現金同等物 期末残高	282	260	22	

2003年度 中間決算説明会資料(4/8)

2003年11月21日
三菱ガス化学株式会社

4. 各種指標推移(連結) (単位:億円)

	2002年度 実績	2003年度 見込み	増減	増減率
設備投資額	158	143	15	9.5%
(うち上期)	87	75	12	13.7%
減価償却費	201	203	2	0.9%
(うち上期)	99	98	1	1.4%
研究開発費	115	115	0	0.0%
(うち上期)	58	55	3	5.2%
人員 (年度末時点)	4,729人	4,515人	214人	4.5%

(メモ) 人員の減少は主に単体とJCIによるもの。

	2002年度 実績	2003年度 見込み	増減
一株当り 当期利益	1.0円	19.5円	20.5円
ROA (総資産経常利益率)	0.6%	2.9%	2.3ポイント
ROE (株主資本経常利益率)	1.7%	8.0%	6.3ポイント
配当額	3.0円	3.0円	0.0円
(うち上期)	0.0円	0.0円	0.0円

5. 経営環境

	2002年度実績		2003年度見込み		メモ
	1~6月	7~12月	1~6月	7~12月	
メタノール市況 (\$ / MT)	130 ~ 140	200 ~ 210	250 ~ 260	210 ~ 220	

	2002年度実績		2003年度見込み		メモ
	上期	下期	上期	下期	
原料キシレン 公示価格(円/kg)	39	43	45	46	
為替 (円/ \$)	122		114		2003年度 上期実績:118円、下期想定:110円

銅張積層板/BTLジン等 売上高指数推移	2000年度		2001年度		メモ	
	上期	下期	上期	下期		
	100	75.8	48.2	50.9		2000年度上期を100とした場合の指数表示
	2002年度		2003年度			
上期	下期	上期	下期想定			
53.2	52.7	64.3	59.7			

2003年度 中間決算説明会資料(5/8)

2003年11月21日
三菱ガス化学株式会社

6. 連結 セグメント別 2003年度 通期業績予想(対前年度実績)

(単位:億円)

	2002年度	2003年度予想			年間増減	メモ
	通期実績	上期実績	下期予想	合計		
売上高	3,121	1,644	1,676	3,320	199	当下期為替レート 110円/\$
化学品部門	1,814	953	979	1,932	118	化学品部門
機能製品部門	1,117	612	615	1,227	110	メノール市価上昇による売上増。他、MMA等誘導品、アノミア、芳香族製品の販売増。 昨年好調のメチル誘導品、PX/PTAでの減益。
その他部門・消去	191	79	82	161	30	過酸化水素など工業薬品の改善
営業利益	19	45	55	100	81	機能製品部門
化学品部門	18	6	13	19	1	大半がエンジニア拡販。電子材料回復寄与。
機能製品部門	7	35	31	66	73	
その他部門・消去	7	4	11	15	8	
営業外損益						
持分法投資損益	57	60	27	87	30	下期は上期に対して約半減(メノール価格要因の他、円高要因も大) 通期で87億円は過去最高。
その他 営業外損益	47	20	32	52	5	
経常利益	29	84	51	135	106	
特別損益	44	11	11	22	22	下期に探鉱費、資産処分損 前年度投資有価証券評価損 38億円
税金等調整前当期純利益	15	73	40	113	128	
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	8	10	5	16	24	
少数株主利益または損失	2	3	4	7	10	
当期純利益	5	60	30	90	95	

1. 単体 セグメント別 2003年度上期 売上高・損益増減比較(対前年同期実績)

(単位:億円)

		2002年度 上期実績	2003年度 上期実績	増減	増減率	メモ					
売上高		1,029	1,155	126	12.2%	売上高要因分析			対前年度		
						02年度	03年度	増減	数量要因	価格要因	
	化学品部門	667	727	60	9.0%	化学品部門	667	727	60	1	61
						メタ・アンモ系	268	326	58	6	52
						キシレン系	310	320	9	1	10
						その他工業薬品	88	81	7	6	1
機能製品部門	356	416	60	16.9%	機能製品部門	356	416	60	52	8	
					その他部門	6	12	6	6	0	
その他部門	6	12	6	100.0%	合計	1,029	1,155	126	57	69	
営業利益		12	3	15	-						
営業外損益	金融収支	0	10	10	2823.5%						
	その他 営業外損益	14	9	5	-						
経常利益		26	4	30	-						
特別利益		4	3	1	29.6%						
特別損失		13	6	7	56.3%						
税金等調整前中間純利益		35	1	36	-						
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額		17	2	15	-						
中間純利益		18	3	21	-						

2. 単体 セグメント別 2003年度 通期業績予想 (対前年度実績)

(単位:億円)

	2002年度	2003年度予想			年間増減	メモ
	通期実績	上期実績	下期予想	合計		
売上高	2,146	1,155	1,175	2,330	184	
化学品部門	1,383	727	736	1,463	80	
機能製品部門	746	416	425	841	95	
その他部門	17	12	14	26	9	
営業利益	11	3	27	30	41	
営業外損益	9	1	1	0	9	
経常利益	2	4	26	30	32	
特別損益	41	3	7	10	31	
税金等調整前当期純利益	43	1	19	20	63	
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	22	2	2	0	22	
当期純利益	21	3	17	20	41	

3. 連結カンパニー別 2003年度 通期業績予想 (対前年度実績)

(単位:億円)

	02年度実績		03年度予想		増減		協創2005	メモ
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	初年度計画	
売上高	1,496	3,121	1,644	3,320	148	199	3,280	天然ガス系化学品カンパニー 上期実績 メノール市況上昇で売上高増加 アムニア、MMA系、補酵素Q10改善も、メタ系原料高で営業赤字 海外メノール2社の持分法利益を加えると黒字。 通期予想 下期にメノール価格低下による逆ザヤ縮小、MMA系数量、販価改善 メタ誘導品、補酵素Q10の増販。通期営業赤字解消。
天然ガス系化学品カンパニー	388	847	441	913	53	66	933	芳香族化学品カンパニー 上期実績 芳香族化学品カンパニー 汎用石化品は原料価格上昇を反映した増収。 PX高値推移などで売上前年並みも営業利益減。 通期予想 下期はメタ誘導品増販、PX生産増による原価低減などを見込むも、営業利益は上期並
芳香族化学品カンパニー	392	781	395	819	3	38	808	機能化学品カンパニー 上期実績 汎用石化品は原料価格上昇を反映した増収。 PX高値推移などで売上前年並みも営業利益減。 通期予想 下期はメタ誘導品増販、PX生産増による原価低減などを見込むも、営業利益は上期並
機能化学品カンパニー	350	727	389	780	39	53	781	特殊機能材カンパニー 上期実績 汎用石化品は原料価格上昇を反映した増収。 PX高値推移などで売上前年並みも営業利益減。 通期予想 下期はメタ誘導品増販、PX生産増による原価低減などを見込むも、営業利益は上期並
特殊機能材カンパニー	219	431	244	485	25	54	468	コーポレート等 機能化学品カンパニー 上期実績 インフラ国内市場回復。過水新規用途等で増収、増益 通期予想 下期はインフラ季節要因(上期定修)、過水の増販、値上げ等で改善
コーポレート等	147	336	175	323	28	13	290	営業利益
営業利益	2	19	45	100	46	81	90	天然ガス系化学品カンパニー 上期実績 BT系材料 需要増、LEシート好調。 電材系子会社も改善(高付加価値品シフト、合理化効果) 通期予想 下期は、円高の影響、競争激化など懸念材料を想定し上期比較で減益
天然ガス系化学品カンパニー	9	3	6	2	3	5	14	特殊機能材カンパニー 上期実績 BT系材料 需要増、LEシート好調。 電材系子会社も改善(高付加価値品シフト、合理化効果) 通期予想 下期は、円高の影響、競争激化など懸念材料を想定し上期比較で減益
芳香族化学品カンパニー	32	51	21	41	11	10	43	コーポレート等 コーポレート研究費、販管費低減。在庫増減影響でプラス。 下期:商社損益低下。経費増も予想。
機能化学品カンパニー	5	3	10	38	15	35	49	
特殊機能材カンパニー	6	15	17	25	22	39	5	
コーポレート等	14	17	3	6	18	11	21	

(持分法投資利益)

(57)

(87)

(77)